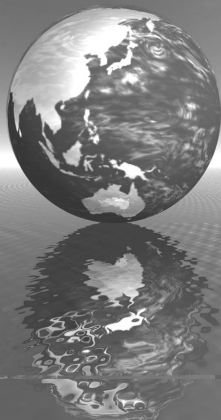


関西学院大学主催
春季人権問題講演会



総合テーマ

「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2025～2029年度)

ヘーそうなんや、ほんで？ ～共感から共生へのいざない～

◆ 2025年6月24日(火)

● 17時00分～18時40分

西宮上ヶ原キャンパス G号館326教室

および オンライン同時配信

あおき

りえこ

◆ 講師／ **青木 理恵子氏**

(特定非営利活動法人 CHARM 事務局長)

◆ 参加方法／

【会場】事前申し込み不要

【オンライン】詳細は下記のURLまたは

QRコードからご確認ください。

<https://kg-humanrights.jp/rfhjwgd>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学Webサイト等で配信する予定です。

■講演内容

日本に暮らす外国籍住民の数は毎年増加しておりその数は、376万9千人(2024年末法務省)に達しました。政府が想定していた増加数を大きく上回っており(前年比10.5%増加)その傾向はこれからも続く見込みです。日本ではその昔外国籍住民を「ガイジン=外の人」と呼んでいました。面と向かってこの言葉を言わなくても、外国人に対して同じ認識が残っていないのでしょうか？

私は日本に暮らす外国籍の人たちが健やかに生活できるための環境づくりを仕事としています。外国籍の中には、病気や難病や発達障害を持ちながら生きている人たちがいます。末期ガンを宣告された人も居ます。それぞれの人々の状況やその人の病の受け止め方は実に多様です。相手に聞いていくこと、対話することによって初めて分かることがたくさんあります。話を聞くことによって生まれる共感と共生について考えたいと思います。

■講師紹介

神奈川県出身。国際基督教大学大学院修士後キリスト教団体YWCA職員として東京、京都で18年間勤務。京都では外国人の支援活動Asian People Together(APT)を担当し移民の福祉の実践を開始した。2000年に退職後バザールカフェ創設、CHARMの創設に関わり外国籍住民やHIVを持ちながら生きる人々をコミュニティの中で支援する活動を行なっている。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansei.ac.jp